

# おぼえよう！ よい子の水辺の おやくそく

～「ライフジャケット」は命のおまもり～



たの 楽しく水辺で遊ぶための合言葉、言えるかな？

## 「かっぱの“お・さ・ら”！」

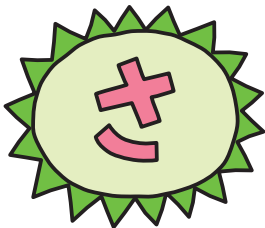
うみ かわ みずうみ いけ みずべ き  
海や川、湖や池などの水辺では気をつけないとあぶないところがあるよ。

「かっぱの“お・さ・ら”！」の合言葉を覚えよう！！



### おとなといっしょに！！

こ ども みずべ ちか みずべ あし  
子どもだけで水辺に近づかないこと！水辺では、足をすべらせてころんだり、急に深くなっていたりして、おぼれてしまうことがあります。



### サンダルはぬげないものを！！

みずべ  
水辺ではサンダルやぼうしなど、落としてしまったものをひろおうとしたり、ながされたものを追いかけていたりして事故につながる場合があります。まずは、ぬげないもの（かかとがとめられる「サンダル」や「くつ」）をはくこと！何かを落としたり、ながされたりしたら、近くに  
おとな たす  
いる大人に助けてもらおう！



### 「ライフジャケット」をつけよう！！

みずべ  
水辺では「ライフジャケット」をつけることを忘れずに！事故が起これたとしても「ライフジャケット」をつけていた人のほとんどが助かっています。準備できる時は必ず、「ライフジャケット」をつけよう！



「ライフジャケット」をつけると安心だね

Q. <sup>にんげん</sup> <sup>からだ</sup> 人間の身体はどれくらい浮くの？ (た—っぶり<sup>いき</sup>息を吸った<sup>とき</sup>時)



A. <sup>にんげん</sup> <sup>からだ</sup> <sup>いき</sup> 人間の身体は息をた—っぶり吸っても<sup>す</sup>  
**2%くらいしか浮きません!**

<sup>せいかい</sup>  
**正解は**  
**③!!**

※<sup>からだ</sup> <sup>なか</sup> <sup>くうき</sup> 体の中に空気がいっぱいある<sup>とき</sup>時

<sup>なが</sup> <sup>みず</sup> <sup>なみ</sup> 流れている水や波のあるところだと、<sup>いき</sup> 息ができずに、おぼれてしまうことがあります。  
 そして、ほとんどの人は息をはくとしずんでしまいます。  
<sup>しぜん</sup> <sup>みずべ</sup> 自然の水辺では、<sup>およ</sup> <sup>ひと</sup> プールでバリバリ泳げる人でも、<sup>で</sup> <sup>すいえいせんしゅ</sup> オリンピックに出た水泳選手でも  
 おぼれてしまうことがあるんです…。



だから、<sup>みずべ</sup> <sup>ちか</sup> <sup>とき</sup> 水辺に近づく時は…

**「かっぱの“お・さ・ら”!** <sup>たいせつ</sup> を大切に!  
**「ライフジャケット」** <sup>じゅんび</sup> を準備しておこう!!

「ライフジャケット」をつけると  
<sup>かお</sup> <sup>みず</sup> <sup>うえ</sup> <sup>で</sup> 顔が水より上に出ます!

～ 大人の方へ ～

子どもたちは思っているより浮きません。  
 なので、一瞬でしずんでしまうことがあるんです。  
 子どもたちがおぼれる時は、音も立てずにしずかにおぼれる…と言われていいます。  
 見守る時は腕の届く範囲で、そして、必ず  
 「ライフジャケット」を準備してくださいね!  
 大人も「ライフジャケット」をお忘れなく!!

＼ <sup>どうが</sup> 動画でわかる! /



ライフジャケットの  
<sup>みずべ</sup> <sup>あんぜんきょうしつ</sup> 水辺の安全教室



水辺に出かける前に、お子さんと一緒にこちらのWebサイトで 学んでください!



子どもたちに  
ライフジャケットを!



香川県教育委員会  
 「学校における水難事故  
 防止対策強化事業」



公益財団法人  
 日本ライフセービング協会  
 「e-Lifesaving」



公益財団法人 河川財団  
 「水辺の安全ハンドブック」